

学校関係者評価委員会

■学校法人敬道学園

校長：成 光雄

事務長：大本 周平

教務長：山内 雄司

教務：下雅意 義規

石川 優子

鈴木 ルリ

大坪 智世

岩田 祥

後藤 宏幸

■外部参加者

- ・株式会社 J S コーポレーション

中部支社 営業課リーダー：市川 泰之（イチカワ ヤスユキ）

- ・日本語学校 I.C.NAGOYA

校長：二川 健司（フタガワ ケンジ）

- ・愛知芸術高等専修学校

総合芸術学科教務主事/進路主事：林 真利子（ハヤシ マリコ）

- ・株式会社 クイントエッセンシャル

代表取締役：山本 武司（ヤマモト タケシ）

- ・株式会社アド近鉄

メディア本部 名古屋施設部（卒業生）：富田 恵理子（トミタ エリコ）

■自己評価結果の説明とその評価 [校長]

▶日本デザイナー芸術学院

沿革・教育目的ともに大きな変化はなく、設備面ではデジタル化への整備や、校内環境の整備を実施。コンプライアンスについて見直しを図り、職員・講師・学生へ周知し体制を整えた。

○就職の傾向 [教務長]

近年の傾向は、インハウスデザイナーの求人が増えている。近年は中小企業でも求人が増えている状況。要因としては SNS の発信に注力する企業が増えてきたため。

○学生募集 [事務長]

2 年課程より 3 年課程の方が増加傾向にある。日本デザイナー芸術学院・日本マンガ芸術学院ともに 2023 年から 3 年課程が増加。

留学生募集について、2024 年度より国際デザインビジネスコース、日本語&ビジネスコースが本格的に募集を開始。

日本人、留学生含め合計人数は 107%増加。コミックイラストコースが若干減少したがその分、イラストデザインコース、キャラクターデザインコースが増加。

社会貢献について、ボランティアなどの表立った実績はないが、産学協同や行政などのコンペ参加などを実施。また、留学生を受け入れている状況で国際交流は学生、講師、職員にも課題はあり。

国際デザインコース、こども学科保育コースの運営もスタートしたが、入学生の募集については、目標人数に達することが出来なかった。

Vtuber プロジェクトについて、結果に直結する活動ではないが高校生への情報発信の場として、手探りながら実施。運営を業者へ発注することも考えたが、学校の性質上タイムリーな情報発信が求められるため、職員が運営を担当。

▶日本マンガ芸術学院

ニチデと重複する箇所については割愛。

○教育成果

卒業後のキャリアは一般就職を考えることが多く、働きながらのデビュー活動をするため。

○募集活動

2024 年度のコース編成について、コミックイラストコースは募集状況を踏まえ 3 年課程

を追加。小説クリエイトコースは教育効果等を踏まえ2年課程から3年課程へ移行。

また、日本語&ビジネスコースを新設。ニチマに日本語&ビジネスコースがあるのは、日本文化等を学ぶ際にコミックカルチャーや声優教材、施設等を応用できるため。

○学院行事

物価高の影響によりヨーロッパ圏への旅行は厳しくなったため、従来の積立金で行けるアジア圏へ行き先を変更。学生負担をできるだけ軽減。

■2024年度教育活動とその成果 [教務課]

受賞実績は学生の実績もそうだが、学校のブランド力向上にもつながる。就職に直結するようなコンペもあるので、引き続き力を入れたい。

▶2024年度 主な受賞・実績報告 [教務課]

- ・「第15回アンデルセンきりがみコンクール」アンデルセン公園きりがみ大賞
- ・「第15回ポスターグランプリ」グランプリ（最優秀賞）最優秀賞・中部経済産業局長賞、三重県知事賞、名古屋市長賞 他
- ・「大府市 認知症ヘルプマークデザイン」 最優秀賞
- ・「なごや環境大学 ガイドブック 2025 前期表紙デザインコンペティション」 最優秀賞
- ・「名古屋市民対象令和7年度 交通安全ポスターコンペティション」 最優秀賞・優秀賞
- ・「中部クリエイターズクラブポスターコンペティション 2024」 優秀賞 他
- ・「JAGDA 国際学生ポスターアワード 2024」 入選
- ・GUMI 2025年公式カレンダーイラストコンテスト 9月イラスト
- ・「MediBang Paint 1億DL突破ありがとう祭！」 HUAWEI 賞
- ・ジャンプSQ「新人漫画賞 SPARK 24年11月期」編集部特別賞
- ・集英社「第31回ココハナ毎月漫画賞」期待賞

▶2024年度 主な就職・進路実績 [教務課]

○クリエイティブ系 [教務課：山内]

就職実績のあった老舗事務所の廃業に伴い、新しい就職先の開拓も課題として挙がっている。

- ・株式会社グラックスマツバラ
- ・DIAREVE 株式会社
- ・株式会社ゼロワンカンパニー
- ・株式会社トキオン
- ・有限会社エンヤ
- ・合同会社 Smiles.

- ・株式会社パインクリエイト
- ・株式会社カクジン
- ・株式会社メディアクリエート
- ・株式会社リラウンド

○エンターテインメント系 [教務課]

卒業年度生が少ないうえに、業界を目指す者が1名のみだった。

- ・スターダス・21Neu／声優・俳優プロダクション（特待生）

○保育系 [教務課]

6名卒業で、5名が正社員で就職。保育所以外の選択肢とる人もいた。

- ・放課後デイサービスすだち（正社員）
- ・社会福祉法人いしずえ会あさひおつきい保育園（正社員）
- ・まあれ愛恵会武蔵小杉あおぞら保育園（正社員）
- ・名古屋市認可小規模保育施設アクシアキッズ園（正社員）
- ・株式会社ローカルサポート（正社員）

○その他 [教務課]

ニチマは兼業作家を目指す人が多いので、一般企業の就職実績もあった。

- ・マックスバリュ東海株式会社
- ・株式会社サンドラッグ
- ・株式会社マーキュリー

▶産学協同 [教務課]

産学協同は学生に社会経験を積む目的で実施。今後も引き続き行う。

○クリエイティブ系

- ・株式会社 GROW UP（グラフィックデザインコース・イラストデザインコース）
- ・株式会社バッファロー（アートデザインコース）
- ・Re:recors／ヤイリギター インタビュー動画制作（映像デザインコース）
- ・サンミュージック名古屋／発表会記録動画編集（映像デザインコース）

○エンターテインメント系

- ・イベント「いきいきお祭り今池ウィーク」ステージ MC、場内アナウンス
- ・イベント「今池 BIG BAND FESTIVAL」@今池ガスホール ステージ MC
- ・TVCM「ららぽーと安城オープン告知」エキストラ出演

■留学生コースの状況 [教務課]

2024年度より「国際デザインビジネスコース」・「日本語&ビジネスコース」としてリストアップ。日本人学生との交流会はお互いに良い経験となった。

▶主な教育内容

○日本語能力の向上

- ・日本語能力検定試験に向けての模擬試験の実施など

○ビジネススキルの習得

- ・ビジネスマナーの習得
- ・office ソフトの技能習得
- ・グローバル検定実施など

○就職支援

- ・名古屋外国人雇用サービスセンター（ハローワーク）登録会
- ・学内企業説明会の開催など

※主な開催企業

- (株) ウィザス
- (株) ベネッセスタイルケア (介護系)、
- (株) エスワイフーズ (外食系)
- (株) ゲンキー (小売系) 他

○日本文化への理解の向上

- ・北陸・岐阜方面への研修旅行
- ・「名古屋市美術館」見学
- ・日本人学生との交流会など

■学生支援について [教務課]

▶修学支援 [奨学金担当]

学業成績や出席率低下者に関しては個別で指導を実施。今年度は74名以上の申込者があり、そのうち給付奨学金が6割を占め、多子世帯支援の拡充の効果が見られた。金銭を理由に進学をあきらめる学生の支援になった。

○奨学金相談窓口

- ・「高等教育の修学支援新制度」への対応

・「奨学金説明会」の実施

▶キャリア支援 [教務課]

関係企業の数が増え、過去最多になった。兼業作家を目指す学資の支援となるので、今後も積極的に行う予定。

○学院内会社説明会

株式会社ソーゴ/株式会社 Cygames/株式会社ハイド/株式会社スタジオサインポスト/株式会社デジタルワークスエンタテインメント/株式会社ロコビット/株式会社オルガンソフト/サクラフィルムズ/アウトソーシング株式会社/株式会社エイジェック/株式会社ネオキャリア/株式会社インテルプレス/ベネッセ iキャリア/株式会社ディンプル/株式会社パーソナック/株式会社日研トータルソーシング/代官山スタジオグループ 他

▶学院内オーディション実施企業 (15社)

アクセント附属養成所シャイン/アズリードカンパニー/アニモプロデュース/81 プロデュース/ガジェットリンク/賢プロダクション/C&O プロダクション/JTB Next Creation/スターダス・21Neu/パワー・ライズ/ブックスロープ/ブリーズ/プロダクション・エース/ゆーりんプロ/ワイスプロダクション

▶その他

- ・愛知キャリア形成・リスクリング支援センター
- ・インテルプレス毎週就職相談会
- ・ハローワーク登録会
- ・「就活情報オープンチャット」の開設
- ・外部のイラストレーターによるイラスト特別授業多数 (藤ちょこ様/時雨様/芦屋マキ様/香琳様/夏日レモン様等)
- ・小学館「週刊少年サンデー」出張編集部
- ・講談社「週刊ヤングジャンプ」出張編集部

■ [2024 年度教育活動とその成果] の質疑応答

事務長：ニチデのコンペ実績は他校と比較しても優秀だと思うが、業界の人にニチデの卒業生だと伝えたことはあるか？

富田：業務上、職場で話す機会はあまりない。プライベートで話す際は少しネームバリューを感じることはある。

山本：業界にニチデ出身者が多い。中部地区ではフリーランスも含め起業率が高い。

事務長：在学中に学生へ卒業生の実績や起業の話をすることはある？

山内：グラフィックデザインコース担当なので、話すことは多い。就職したデザイン事務所を辞めて独立しても、その会社と縁が切れることはなく、その会社の下請けをするケースも多い。値段の決め方なども具体的な話ができる環境が整っている。

事務長：就学支援について、高校生へ奨学金の情報などはどんな風に伝えているか？

林：高3生で進学希望者へ資料の配布・説明を行っているが、現状は不安な点も多い。夢をお金できらめる子もいるので、専門学校にそういう情報も出してほしい。

石川：高校で伝えておいてほしいこととして、学生自身に「何の奨学金を使っているのか、そもそも高校で申し込みをしたのか」すら理解をしていない家庭が多い。学院内では、保護者を介さず学生へのみ説明を実施している。なので、高校での説明の際は保護者だけではなく、生徒にもしっかりと理解していただきたい。

事務長：JS コーポレーションで奨学金についての案内はあるか？

市川：進学に関わる情報なので、冊子やホームページ等で情報の発信はしている。

事務長：日本語学校では、学生のモチベーションを維持するためのイベントはあるか？

二川：勉強やバイトで忙しく、学生のモチベーションを保つには、日本語学習以外のイベントを実施。研修旅行やスポーツ大会など。日本人と接する機会をできるだけ増やしたい。

■学校関係者評価の総評と意見交換

事務長：今年度は高2の体験入学の参加数と比例して、入学者が増加する傾向があった。愛知芸術高等専修学校では高2に対してどんな指導があるか？

林：高2の夏以降には上級学校の見学などに出向くよう進路指導をしている。

事務長：高校生の進路決定について、傾向はあるか？

市川：年々、早期化の傾向にある。

事務長：留学生の学校説明会やガイダンスで来校予約を取ったが、当日に欠席するケースが多い。約束の仕方に工夫はあるか？

二川：在学生でも約束を守らない人は多くいる。口頭だけではなく、紙も渡している。

事務長：デザイン業界ではなく、一般の企業で求められるスキルはあるか？

富田：現在、広告代理店勤務で駅の案内表を作る業務をしているが、デザイン知識は生きてくる。デザイン以外の業務は多くあるが、「人に情報を伝える」時に学校で習ったことを実感する。

事務長：今年度は留学生の日本語能力の質が上がっている気がするが、教育の手ごたえはあったのか？

二川：コロナ禍の入国制限が解除されて、留まっていた留学生が一気に押し寄せた時期は、待機期間中に日本語能力が減衰していたと予想。現在の留学生の姿が今まで通りの姿で、勉強に意欲のある人が来ている印象。

石川：高校生は卒業後すぐにフリーランス活動を希望する生徒は多いと思うが、理想は就職してからフリーランス活動と思っている。イラスト系での就職・フリーの希望者割合は？

林：フリーランス希望者は少ないと思う。

事務長：この先、名古屋に増えてきそうな留学生出身国はあるか？

二川：ネパールは日本ブーム継続中のため、今後も期待できる。パキスタン・ウズベキスタンが増えている傾向があるが、東京の方ではウズベキスタン人の受け入れを拒否している学校もある。約束を守れずマナーを守らない人が多いためらしい。

下雅意：在学生のウズベキスタン人は日本人並みにはしっかりしている。

二川：「認定日本語教育機関」という制度が施行され、今後入管の方でも留学生の受け入れ基準が厳しくなる可能性がある。現在、860校くらいある日本語学校の中で認定を受けているのは40校ほど。

※「認定日本語教育機関」とは、旧制度の法務省告示校のように一定の要件を満たして公式に認定された日本語教育機関を指す。

■Vtuber プロジェクトについて[担当：後藤]

SNSの強化コンテンツとして始動。入学する学生もVtuberが好きな子が多く、在生も巻き込んだ企画となった。おもしろいことをしている学校と認識されたい。現在8本の動画を投稿し、特に藤ちょこさんの動画は再生回数が多かった。

今後は、「Vtuberを知る」→「学校のことを知る」の流れも作っていきたい。Vtuberらしい活動もだが、進学について腰が重い子に対してアプローチも必要なので、学校情報もきちんと発信をしていく予定。

事務長：専門学校で広報Vtuberを運営している学校はあまり事例を見たことはないが、他校の情報はあるか？

市川：少なくとも中部地区ではあまり見られない。

■総評[校長]

当学院ではクリエイティブのスキル向上も重要だが、一人でイラストやゲームをただ楽しむだけではなく「社会性」を通すことで、その後の仕事にもつながることも指導していく。そういった活動には、関係者の皆様のご協力が必要不可欠であるため、今後ともよろしくお願いたします。

閉会。